

**指定管理者制度導入施設の管理運営状況等に関する評価表**  
(評価対象年度: 令和2年度)

**<施設概要>**

施設	せんがわ劇場
施設の設置目的	市民の舞台芸術の創造及び発信の拠点とするとともに身近に芸術文化に触れる機会を提供することにより、芸術文化の振興を図る
指定期間	平成31年(2019年)4月1日～令和6年(2024年)3月31日
指定管理者	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団
所管部署	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課

**<施設の過去3箇年の主な管理実績>**

※せんがわ劇場は平成31年4月から、新たに指定管理者制度を導入しています。

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業参加者数	/	1万257人	2696人 ライブ配信視聴回数317回 その他配信視聴回数 3776回
貸出施設稼働率	/	90%	69%
指定管理料(市決算額)	/	5161万3577円	5751万3255円
利用料金収入	/	818万2350円	6万1350円

**<指定管理者における全体総括>**

令和2年度は、市の「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」を踏まえながら、財団基本計画に基づき、市の直営時から事業に参加していた次世代の芸術家や演劇スーパーバイザー、演劇外部アドバイザー、音楽アドバイザーからの事業企画・運営に関するアドバイスと共に、既存事業の見直しを進めました。

事業運営について、東京2020大会の機運醸成とレガシー継承に向け、共生社会の推進をテーマに実施した「調布・巡る・アートプロジェクト」で、せんがわ劇場においては、ガラス壁面にアーティストが詩などの文章を書き込んでいくアート作品を展示し、文化施設を一体的に活用した事業展開を図りました。

また、せんがわ劇場で長年親しまれてきた「サンデー・マティネ・コンサート」は、少人数の観客を入れた公演とライブ配信を併用して実施したほか、発展形として生まれた有料公演「サンデー・マティネ・コンサート プラス」については、せんがわ劇場の認知度向上と、文化施設3施設の連携により、事業の幅を広げるためグリーンホール大ホールで実施しました。さらに、平日にも気軽に楽しめる質の高いコンサートシリーズ「せんがわミュージックライブ」を開始しました。例年実施している「演劇コンクール」は、予選まで行い、本選及び前年度受賞団体による公演は新型コロナウイルスの影響に伴い延期としましたが、代替企画として「映像と生で楽しむリーディング」を実施し、生の演劇の魅力とオンラインでの新しい表現について考えるきっかけとしたほか、演劇コンクール出身者によるPR動画やレポーター作品を制作し、市民が身近で気軽に芸術・文化に触れる機会の提供を目的に取り組んでいるアウトリーチ事業の基盤を整備しました。

施設の管理運営では、窓口での対応やアンケートなど多様な手段を通じて、利用者の声の反映に努めました。

組織運営では、人材育成に関して、共生社会の推進を目指して実施してきた「パラ劇場研修」の集大成として、障害のある方とない方が出演者となる公演を実施し、職員の意識向上につなげました。自主財源の拡充についても、寄附金、協賛金、外部助成金などの獲得に積極的に取り組みました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業の中止、規模縮小、施設の利用停止や貸出時間短縮などの対応を行ったことに伴い、施設利用者数、事業参加者数及び利用料金収入が減少しました。一方で、予約制の導入やオンラインワークショップ、映像配信など、感染防止対策を徹底したうえで様々な工夫を凝らしながら各事業を実施し、遠隔地の方など新たな参加者の獲得にもつながりました。

<施設の管理運営等に関する評価(各評価区分の考え方は下段の「評価の目安」を参照)>

業務の実施体制	確認項目	確認欄
	業務マニュアルの整備(職員への周知含む)	( 有(更新) <b>有</b> 無 )
	緊急時におけるマニュアル・連絡体制の整備(職員への周知含む)	( 有(更新) <b>有</b> 無 )
	職員の育成(研修・緊急時対応等の訓練)の実施	( <b>実施</b> ・未実施 )
	<評価におけるその他の視点> ・個人情報保護及び情報漏洩防止のための措置 ・職員の勤務条件・待遇における関係法令の遵守 ・協定書等を遵守した業務の再委託 など	・適切な人員配置 ・適時適切な市との情報共有
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)	評価(b~d)
継続的なアートマネジメント人材の育成に取り組み、芸術・文化分野の実務研修や職層に応じた研修をオンラインも取り入れながら実施した。共生社会の推進を目指して実施してきた「パラ劇場研修」では、障害のある方とない方が出演者となる公演の開催に向けて、出演者を講師に招いた財団職員向けの講演会等を開催し、出演者への支援の在り方や鑑賞サポート等について実践的に学ぶ機会とするとともに、共生社会の実現に向けた職員の意識向上を図った(新型コロナウイルスの影響により公演は中止とした)。 指定管理者制度を導入して2年目を迎え、複合施設を共に管理運営する事業者や市関係部署と連携を図り、適宜円滑な情報共有を図りながら、より効率的な施設管理が行えるよう、協議を行った。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策においては、施設の利用停止及び利用キャンセルに伴う利用料金の還付のほか、一部事業の中止又は延期、オンライン配信を含む開催方法の変更など、市及び関係機関との情報共有や連携の下、迅速に対応した。		b

評価の目安(b~d)

- b: マニュアル整備や研修等が適切に実施されており、その他、協定内容や関係法令等が遵守されている。
- c: マニュアル整備や研修等の実施、協定内容や関係法令等の遵守について一部改善を要する点がある。
- d: 業務の実施体制について、抜本的に改善が必要なものがある。

施設の維持・管理	確認項目	確認欄
	施設・設備についての保守点検の実施	( <b>実施</b> ・未実施 )
	施設・設備に不具合等があった場合の修繕等の実施	( <b>不具合等有</b> 25件(うち対応25件))・無 )
	備品の適切な管理(台帳との照合)	( <b>実施</b> ・未実施 )
	<評価におけるその他の視点> ・利用者の安全確保対策 ・適切な衛生管理(清掃対応、感染症対策など) ・指定管理者として必要な保険への加入 など	
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)	評価(a~d)
設備不具合の早期発見・早期対応により、建物全体の長寿命化を図るため、日常・定期点検を積極的に実施し、25件の修繕を行った。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「調布市公共施設の開館・利用における感染拡大防止ガイドライン」に基づき、施設の利用停止や収容率の制限等を行ったほか、適切な入場者管理のためのサーマルカメラを早期に導入し、より効果的・効率的な対策を行った。		b

評価の目安(a~d)

- a: 施設・設備の点検や修繕等への適切な対応に加え、先進的な対策の導入など、優れた安全対策や維持保全などが行われている。
- b: 施設・設備の点検や修繕や備品管理、安全対策などをはじめ、施設の維持・管理が適切に実施されている。
- c: 施設・設備の点検や修繕等の施設の維持・管理について一部改善を要する点がある。
- d: 施設の維持・管理について、抜本的に改善が必要なものがある。

	確認項目	確認欄
サービスの提供	計画した事業(サービス)の実施	( 計画どおり <b>一部未実施</b> 多くが未実施 )
	利用者数の状況(前年度比較)	( 前年比5%超増 ・ 同水準(±5%) ・ <b>前年比5%超減</b> )
	貸出施設稼働率の状況(前年度比較)	( 前年比5%超増 ・ 同水準(±5%) ・ <b>前年比5%超減</b> )
	新たなサービス(事業)の実施	<b>有</b> (3件) ・ 無 )主な実施内容:せんがわミュージックライブ, オンラインによる配信, ちょうふアートサポーターズ
	サービスの見直し(利用方法・事業回数・時間帯等)の実施	<b>有</b> (2件) ・ 無 )主な実施内容: サンデー・マティネ・コンサート・プラス, 施設利用カードの3館共通化
	職員の接遇態度(言葉遣い, 態度, 服装, 問合せへの対応等)	<b>優れている</b> 普通 ・ 要改善 )
	<p>&lt;評価におけるその他の視点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者にとって分かりやすい施設利用案内や事業等に関する情報提供</li> <li>・施設の設置目的に沿ったサービスの提供及び事業の実施</li> <li>・協定書等に基づく施設の開館日・開館時間の遵守</li> <li>・利用申請等に対する迅速な対応</li> <li>・利用者に対する附帯設備・備品等の適切な提供</li> <li>・利用者からの苦情や要望等に対する適切・迅速な対応及び市への報告</li> <li>・施設の利便性向上・利用促進に関する取組</li> <li>・利用者満足度アンケート調査等の結果 など</li> </ul>	
施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)		評価(s~d)
<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設の利用停止や収容率の制限等を行ったことに伴い、施設の利用率は69%となり、前年度比で大きく減少した。一方で、施設利用者アンケートによる満足度(「どちらかといえば満足」を含む。)は97.4%であり、前年度と同程度の高い水準を維持している。</p> <p>「サンデー・マティネ・コンサート」は、少人数の観客を入れた公演とライブ配信を併用して実施したほか、発展形として生まれた有料公演「サンデー・マティネ・コンサートプラス」をグリーンホールで実施し、文化施設3施設の連携により事業の幅を広げることにつながった。また、新たに、平日にも気軽に楽しめる質の高いコンサートシリーズ「せんがわミュージックライブ」を開始した。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、計画事業の一部を中止・延期とした一方で、予約制の導入やオンラインワークショップなど、様々な工夫を凝らしながら事業を実施し、遠隔地の方など、新たな参加者の獲得につなげた。</p>		a

**評価の目安(s~d)**

- s: サービスの提供(施設利用, 事業実施など)について, 特に優れた実績がある。
- a: サービスの提供(施設利用, 事業実施など)が適切に実施され, かつ, 前年度実績を上回る実績が複数あるなど, 優れた実績がある。
- b: サービスの提供について協定書等の内容に基づき, 概ね適切に実施できている。
- c: サービスの提供について協定書等の内容に基づく対応が実施されていないものが散見され, 一部改善を要する点がある。
- d: サービスの提供について, 抜本的に改善が必要なものがある。

財務 の 状 況	確認項目		確認欄
	収支計画を踏まえた実績	利用料金収入	( 計画比+5%超 ・ 同水準(±5%) <b>計画比-5%超</b> )
		支出総額	( 計画比+5%超 <b>同水準(±5%)</b> ・ 計画比-5%超 )
	収入(指定管理料を除く)の状況(前年度比較)		( 前年比5%超増 ・ 同水準(±5%) <b>前年比5%超減</b> )
	収入確保や経費縮減の取組		<b>有</b> ・無 )主な取組内容: 寄附金, 企業協賛金及び外部助成金の獲得
	<評価におけるその他の視点> ・指定管理料の適切な管理(帳簿等の整備) ・利用料金等に関する適切な収納及び還付事務の実施 など		
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)		評価(s~d)
文化庁や地域創造などから新たな補助金等を獲得したほか、用途を限定しない寄附金については、各事業において寄附の呼び掛けの場を設けるなどのPRを効果的に行った結果、前年度を超える金額を確保した なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設の利用停止や利用キャンセルに伴う利用料金の全額還付を行ったことにより、利用料金収入は令和2年4月、5月、及び令和3年2月分がマイナス値となり、年間を通じて前年度と比べて大きく減少した。利用料金収入の実績及び減収影響の見込み分について市と協議を行い、指定管理料の追加交付を行った。		a	

**評価の目安(s~d)**

- s: 収支計画等に基づく適切な運営等の実施に加え、収入増加や経費縮減に関して、特に優れた対応・実績が見られる。
- a: 収支計画等に基づく適切な運営等の実施に加え、収入増加や経費縮減に関して、優れた対応・実績が見られる。
- b: 収支計画等に基づく適切な運営が概ね実施できている。
- c: 収支計画等に基づく適切な運営や、その他財務に関連する取組に一部改善を要するものがある。
- d: 収支計画等に基づく適切な運営や、その他財務に関連する取組に関して抜本的に改善が必要なものがある。

そ の 他	確認項目		確認欄
	地域等との連携による取組の実施		<b>実施</b> 未実施 ) 主な実施内容: ・アウトリーチ事業(音楽・演劇) ・桐朋学園短期大学修了公演
	地域貢献活動の実施		<b>実施</b> 未実施 ) 主な実施内容: はしうち教室等への演劇アウトリーチ事業, 仙川地域の緑化活動
	<その他評価の視点> ・省エネルギー, 省資源等の取組による環境への配慮 ・市民雇用の取組 ・地域経済の発展に資する取組 など		
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)		評価(s~d)
「せんがわ劇場演劇コンクール」は、令和2年度は新型コロナウイルスの影響に伴い、予選までの実施となったが、アウトリーチ事業の一環として、過去のファイナリスト等を市内小・中学校へ派遣することで、地域における次世代の芸術家の育成と子ども達の演劇に触れる機会を併せて創出した。また、次世代の鑑賞者を育てるため、劇場に親しむ事業として、謎解きをしながら劇場内を巡り、演劇や音楽に触れることができる「ブラックサンタクロースの謎を解け」を実施するとともに、関連企画として塗り絵の募集を行い、多くの親子連れや子どもの参加につながった。		a	

**評価の目安(s~d)**

- s: 4つの視点に関する取組以外に、地域等との連携による事業や地域貢献活動への積極的な参加などにおいて、特に優れた対応が見られる。
- a: 4つの視点に関する取組以外に、地域等との連携による事業や地域貢献活動への積極的な参加などにおいて、優れた対応が見られる。
- b: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への参加などの取組が行われている。
- c: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への参加などの取組に関して一部改善を要するものがある。
- d: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への取組について、抜本的に改善が必要なものがある。

## <施設所管部署における全体総括>

令和2年度は、財団基本計画を踏まえて、東京2020大会の機運醸成とレガシー継承に向け、映像配信や、平日にも楽しめる質の高いコンサートシリーズ「せんがわミュージックライブ」の開始など、市民の文化活動への参加機会を広げる取組が行われるとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を含め、施設の適切な管理運営が行われた。また、事業運営においては、施設管理の市直営時代から培ってきた地域の各大学や商店街等との連携など、地域に根差した劇場の特色を生かした事業展開を引き続き継承するとともに、これまでせんがわ劇場で実施してきた「サンデー・マティネ・コンサート」の関連公演をグリーンホールで実施するなど、文化施設3施設の連携による、劇場事業の更なる発展を図ることができた。

これらのことを踏まえ総合的に判断すると、新型コロナウイルスの影響を受けつつも、市民の文化活動の機会を絶やさぬよう、様々な工夫を凝らしながら事業を展開し、新たな事業参加者の獲得にもつなげるなど、期待通りの業務が行われたものと高く評価することができる。今後も、市民が芸術文化に触れる機会の充実に努めながら、市民の文化活動が促進されるとともに、利便性が高く、安全・安心な施設管理が継続されるよう指導していく。

## 総合評価

A

### 総合評価基準

以下、施設の管理運営等に関する各視点に基づく評価に対応した係数の合計で総合評価を決定する。

